

2年生主将 原田

開幕戦「静理大あす」県学生野球春季

現状打破

16年ぶりの勝ち点へ

県学生野球春季リーグ(スポニチ静岡支部後援)はあす9日、第2週の上回戦3試合(松前)が行われる。第1週に試合のなかった静理大は昨春覇者・常葉大浜松との「開幕戦」。16年ぶりの勝ち点1獲得を目指し、主将の原田大樹中堅手(2年)が新生・静理大をけん引する。



鋭いスイングでチームをけん引する原田主将

上級生1人だけ 若い力で変革
 明けの夜はない。16年春が新時代のスタートになる。最初の目標は、00年春季リーグ第4週・東海大洋戦以来の勝ち点獲得。鍵を握る原田主将は、「今まで」を変えないといけない。上級生(3、4年生)1人だけの若いチームだが頭張りたい」と意気込む。攻守でチームの軸として活躍する新リター。持ち味は打撃で、昨春は1年生ながら常葉大浜松の



MVP右腕・岡田圭市投手(22、現西濃運輸)、東海大洋のMAX148右腕・今村亮投手(4年)から安打を放った。今季はただ一人の上級生・井上亮外野手(同)が授業や就職活動でリーグ戦出場が困難なため、2年生ながら主将に就任。「経験は少ないがやる気はあるチームなので、背中で引っ張っていきたい」と決意をにじませる。

「今まで」を変えないと「昨季MVP腕から安打した打力で新チーム引っ張る



16年ぶりの勝ち点獲得を目指す静理大ナイン

した小笠原リトルシニアでは現広島の桑原樹内野手19(顔写真)と同級生木博志投手19と同級生が、自分も野球で何か一期。磐田東時代は現ソフトバンク育成の左腕・斎藤3人の活躍は、原田主将にとって大きな励み。藤誠哉投手19(同)、将にあって大きな励み。社会人野球・ヤマハの鈴「全然立場は違うんです

チームは99年の県学生野球リーグ発足以降、最下位を免れたのは00年春の一度だけ。04年春、11年春には公式戦172連敗も経験した。「これまででは勝つことが難しかったが、今季は警戒されるチームになりたい。そして必ず勝ち点を獲得したい」。新旗手に導かれ、静理大の歴史が変わる。

◎原田大樹(はらだ・だい) 一小3年時に黒潮野球SSで野球を始める。浜岡中時代は小笠原リトルシニアでプレーし、血液型O。趣味は映画観賞。